

結果の要約

1 職業

大分県の15歳以上就業者数(571,645人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が162,696人(15歳以上就業者数の28.5%)と最も多く、次いで「事務従事者」が96,044人(同16.8%)、「専門的・技術的職業従事者」が76,707人(同13.4%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が8,028人(15.2%)増、「保安職業従事者」が579人(6.1%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が2,390人(15.3%)減、「運輸・通信従事者」が1,973人(9.1%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.5%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.9%、「販売・サービス関係職業」が25.7%、「農林漁業関係職業」が8.9%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.4ポイント上昇しているのに対し、「事務・技術・管理関係職業」、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.6ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.6時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.8時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が48.5時間、「管理的職業従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が2.8時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が1.9時間減、「販売従事者」が1.7時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が135,750組(夫婦数300,393組の45.2%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が84,543組(同28.1%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が14,087組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.4%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が14,062組(同10.4%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は136,286世帯(住宅に住む一般世帯458,650世帯の29.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は322,364世帯(同70.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が129,464世帯(同28.2%)、「女性のみ」の世帯が57,421世帯(同12.5%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が24,983世帯(同5.4%)となっている。

図1 大分県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

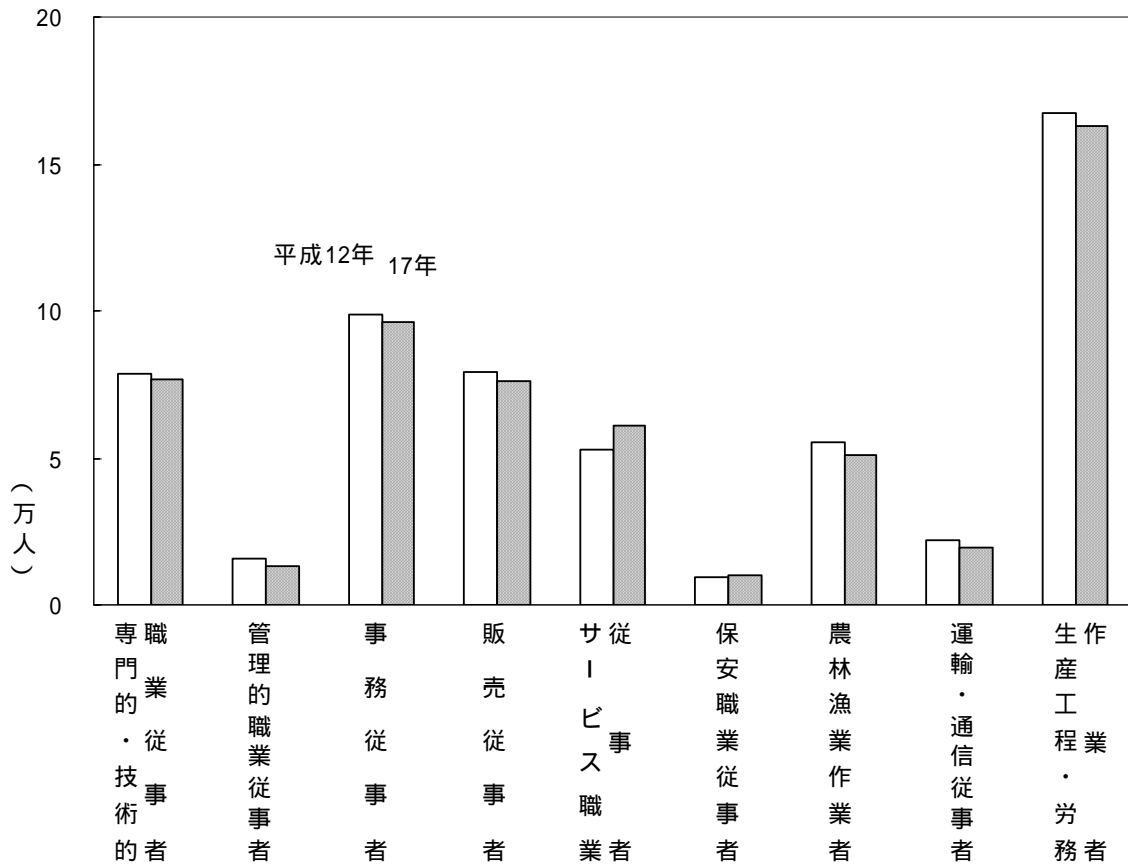


図2 大分県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

